

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		食の「もったいない」意識の啓発					所管	環境清掃部 清掃リサイクル課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	238	計画事業名	食品ロス削減の啓発			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現 [施策] 51 ごみの発生抑制の促進					[事業開始] 平成29年度 [終了予定] - 年度			
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]		東京都台東区廃棄物の処理及び再利用に関する条例					
	事業対象	直接の対象 : 一般区民 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	食品ロス削減に関する周知・啓発活動を行うことにより、区民が食べものを無駄なく消費し食品ロスの排出抑制につながる行動を実践することで、生ごみの減量を図る。								
	事業内容 [H30年度]	(1) 食品ロス削減講座 ① 講義・見学編 9月26日(水) 食品ロスに関する講義および生ごみ処理施設の施設見学 講師:(一社)平井 巧 施設見学:バイオエナジー(株)中央防波堤埋立処分場 ② 実践編 10月13日(土) エコクッキング(食材を無駄なく使うための料理教室) 会場:華学園 (2) 食品ロス削減啓発用卓上POPの作成 配布先 区内飲食店								
	委託の有無	一部委託	委託内容		エコクッキング開催及びエコレシピ作成委託					
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	食品ロス削減講座実施プログラム数	回	3	-	3	3	-	-	
	成果指標	食品ロス削減講座のべ参加者数	人	90	-	68	28	-	-	
	決算額 (単位:千円)				H28年度		H29年度		H30年度	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			-		6,704		9,434	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			-		947		431	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			-		26		26	
		総経費			-		7,677		9,891	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			-		0		0	
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			-		0		0			
一般財源(区負担額)			-		7,677		9,891			
課題及び今後の進め方	区で開催する講座は日程や募集人数が限定的であり、啓発の効果が地域に広がりにくい部分があるため、今後は、前述の講座に加え、食品ロス削減の意識のある人が地域で啓発活動が出来るように支援をすることにより、より広く食品ロス削減の意識が広がるような事業を実施していく。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	食品ロスは大きな社会問題となっており、また各家庭で食品ロス削減の取り組みを行うことは、区で収集する燃やすごみの約4割を占める生ごみ削減のために必要なことである。							
	効率性	3	講義と施設見学を同日実施としたことで、効率的に学ぶことができる。また料理教室も区内の調理学校を活用し行っている。							
	手段の適切性	2	食品ロス削減といった個人の生活行動を変えていくためには長い期間で啓発活動を続けていくことが必要であり、今後も引き続き講座等を行っていく。また、講座の対象も子供から大人まで幅広くとらえていく。							
目的達成度	1	29年度と比べ、食品ロス削減講座の受講生が少なかった。講座日は限られてしまうため、日程設定や対象者の検討などが今後の課題となる。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
食品ロス削減は、ごみ減量の手段の一つとして今後も取り組んでいく。区で行う講座については、対象者の見直しや啓発手法のノウハウを持つ団体との連携など多くの方が受講できるように改善を図る。また、区民の中でも意識が高くごみ減量に積極的に活動する意欲のある人を発掘し、地域で啓発活動ができるように区で支援していく取組みを実施していく。						改善		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		